

まちづくりの  
基本方針

1

# 豊かな自然に 抱かれる 伊豆の国市 (自然・生活環境)



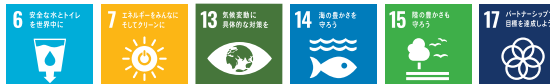
【施策の大綱】

- 自然環境の保全と景観の向上
- 快適な生活環境の創造

## 政策の柱

## 1-1

関連するSDGs



# 自然と共生する ふるさとづくり

## 目指すまちのすがた

美しく豊かな狩野川が市の中心部を流れ、市民や来訪者が憩い、集うことのできる水辺空間となっています。水源となる森林や農地が保全・継承されるとともに、再生可能エネルギーの普及活用や地球温暖化対策など、脱炭素社会(※)に向けた取組が進んでいます。

## 現状と課題

- 本市は、東は箱根山系の連山、西は葛城山などの森林に囲まれ、平野部には南北に狩野川が流れる豊かな田園風景が広がっています。森林や農地は、その美しい景観だけではなく、水源の涵養や土砂の流出・崩壊防止等、防災面でも重要な役割を果たしています。
- 森林の多くは担い手不足などを背景に放置されており、整備されている箇所も切捨て間伐(※)が主な手段となっており、大雨による伐採木の流出被害が懸念されること等が課題となっています。
- 地球規模での環境保全に向けた脱炭素社会の実現のために、市民意識の啓発をはじめとして、省エネルギーの推進、循環型の環境づくりなどに取り組んでいく必要があります。

## 主要施策

### ① 森林保全・河川活用の推進

#### ① 森林の保全・整備 .....

森林の持つ水源涵養、山地災害防止、土壌保全等の機能を保持するため、森林の間伐、放置竹林の整備、下刈り、皆伐再造林、枝打ちなどを進めるとともに、林業関係機関と連携し効率的、計画的な整備を図ります。また、森林整備を行う個人や団体、森林ボランティア等を支援します。



#### ② 林道・治山管理の実施 .....

森林施業を安全かつ効率的に行うために、林道や治山施設等を適切に管理します。また、災害時には倒木等による道路断絶や水源の被害等を建設業者等と連携し、速やかな対応に努めます。

#### 用語解説



**脱炭素社会** 地球温暖化の原因となる温室効果ガスの実質的な排出量ゼロの実現を目指す社会のこと。

**切捨て間伐** 間伐で伐採した木や枝を搬出せず、そのまま放置する間伐のこと。

### ③ 自然環境と再生可能エネルギー発電施設との調和 .....

事業者等が設置する再生可能エネルギー発電施設については、大規模な森林伐採や土地造成等による景観の阻害、土砂災害の発生等への影響を考慮したうえでの設置及び設置後の適切な維持管理を促進します。

### ④ 水辺空間の活用 .....

子どもたちを対象とした水生生物観察会などの活動を通じ、身近な水辺空間を大切にしていける行動の啓発に努めます。また、市民が水辺で憩える場を創出するため、かわまちづくり計画による水辺空間の整備、整備後の利活用を推進します。



## 2 脱炭素社会に向けた取組の推進

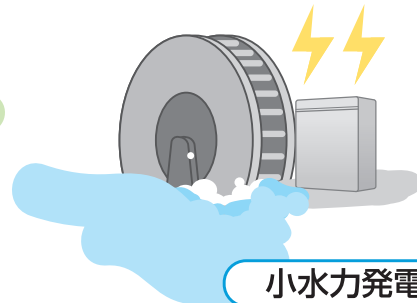
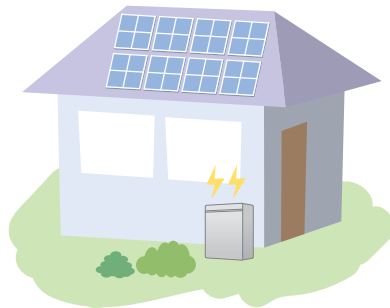
### ① 地球温暖化対策の推進

2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを旨とし、地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策編)に基づき、市民と事業者の環境への取組を推進します。

### ② 再生可能エネルギーの普及啓発

太陽光発電、小水力発電などの再生可能エネルギー導入の必要性を広く周知するとともに、市民による再生可能エネルギー機器等の設置を促進します。

太陽光発電



小水力発電

### 指標

指標名	基準値	目標値	指標の説明
市全域における二酸化炭素の排出量	298千トン	230.1千トン	市内の産業部門、家庭部門、運輸部門、廃棄物分野等から排出される年間二酸化炭素の総排出量

基準値／平成30年度実績値

## 政策の柱

## 1-2

関連するSDGs

15  
陸の豊かさも  
守ろう17  
パートナーシップで  
目標を達成しよう

# 魅力ある 景観形成の推進

## 目指すまちのすがた

葛城山や狩野川などの雄大な自然、富士山を望む田園地帯、情緒ある温泉場、歴史的建造物など、さまざまな要素がちりばめられた魅力的な景観が広がっています。市街地では、景観に配慮したまちなみが形成され、花と緑があふれる潤いある生活空間となっています。

## 現状と課題

- 本市の景観は、自然、歴史的まちなみ、伝統や文化など、多様な要素から成り立っています。この自然環境と一体となった優れた眺望や歴史的なまちなみを維持し、後世に継承する伊豆の国ならではの風景づくりに取り組む必要があります。
- 都市公園のあり方について、より多くの人が集えるような公園機能が求められています。

## 主要施策

### ① 伊豆の国らしさ溢れる風景の形成

#### ① 共に取り組む景観形成の推進 .....

豊かな自然と先人の築いた歴史と文化を受け継ぎ、市民や事業者、行政が共に景観形成に取り組めます。



#### ② 屋外広告物適正化の推進 .....

自然景観を保全するとともに、周辺景観と調和したまちなみを形成していくため、伊豆の国市屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の表示・設置の許可や指導を行います。

### ③ 景観教育の推進 .....

景観に対する意識啓発を図るため、子どもたちへの景観まちづくり学習を充実していくほか、市民向け講演会等を開催します。





## ② 自然環境を活かした空間の形成

### ① 花いっぱいの景観づくり .....

花や緑が市民生活に根付き、潤いと安らぎのある生活環境を創造するため、花によるまちの活性化を推進するとともに、市民参加による花壇づくりを通じた地域交流を促します。



### ② 都市公園の維持・活用 .....

暮らしに身近な公園が市民の憩いの場となっていくように、地域と連携しながら公園の立地や自然環境を活かした維持・管理に努めます。また、子どもたちが安心して往来ができる公園周辺の歩道整備を検討するほか、公園のレクリエーション機能や防災機能の充実について必要に応じた再整備を検討します。



### 指標

指標名	基準値	目標値	指標の説明
景観まちづくり学習の実施回数	1回	2回以上	小学校での総合学習出前授業や市民向け講演会・講座を実施した年間回数

基準値／令和3年度実績値

## 政策の柱

## 1-3

関連するSDGs

3

すべての人に健康と福祉を

6

安全な水とトイレを世界中に

11

住み続けられるまちづくりを

12

つくる責任 つかう責任

13

気候変動に具体的な対策を

14

海の豊かさを守ろう

15

陸の豊かさを守ろう

17

パートナーシップで目標を達成しよう

# 快適な生活環境の充実

## 目指すまちのすがた

市民の協力のもと廃棄物の削減や資源の再利用が進み、地球にやさしいまちづくりが進められています。生活排水による河川の水質汚濁、騒音、振動、悪臭といった公害が無く、良好な生活環境が維持されています。

## 現状と課題

- 本市にとって、美しい自然に抱かれた快適な住環境は最大の魅力です。この豊かな暮らしの風景は、観光地としての魅力や価値の向上にも寄与しています。
- 将来にわたって良好な環境を維持していくために、大気・騒音・悪臭・振動などの公害を未然に防止する必要があります。
- 市民にとって身近なごみの分別や排出について、誰もが適正にできるようになるための支援が求められています。

## 主要施策

### ① 住みよい生活環境の推進

#### ① 公害等への対策 .....

日常生活や事業活動に伴って発生する騒音や振動、悪臭などの公害を監視するとともに、関係機関と連携し指導等を行います。

#### ② 生活排水処理設備の整備 .....

生活排水による河川の水質汚濁を防止するため、家庭における単独浄化槽から合併浄化槽への設置替えを支援するほか、下水道区域においては下水道接続を積極的に促進します。

#### ③ 不法投棄防止対策の実施 .....

不法投棄を防止するため、広報紙等を通じた啓発に努めるとともに、職員によるパトロール等により未然防止に努めます。また、不法投棄に悩む市民からの相談への対応や、不法投棄を防止する市民や団体等への支援を行います。

#### ④ 動物愛護の推進 .....

動物の愛護及びマナーに関する飼い主の責務等について周知・啓発するとともに、里親制度等の充実を図ります。

## ② 資源循環の推進

### ① 3R運動の促進 .....

家庭ごみの分別を徹底して3R(※)運動を推進します。また、家庭で不要になった生活用品のリサイクルを促進するための「不用品活用バンク」の取組や、資源ごみ回収団体に対する報奨制度等を継続します。

### ② 食品残渣・剪定枝等の堆肥化 .....

市内で排出された食品残渣(生ごみ)・剪定枝等の堆肥化を継続することで焼却ごみの減量・資源の有効利用を推進するとともに、製造された完熟堆肥「農土香(のどか)」の施用効果の周知を強化し、一層の販売促進に努めます。



### ③ 廃棄物処理施設の整備・見直しの検討 .....

伊豆市伊豆の国市廃棄物処理施設組合により、広域廃棄物処理施設の建設・運営を行うことで、施設建設費や運営費コストを縮減し、施設の規模拡大による熱エネルギーの再利用を図ります。また、効率的かつ効果的な施設運営に向け、既存の廃棄物処理施設の統合を含めた見直しを行います。

#### 用語解説



**3R** 「Reduce(リデュース)」「Reuse(リユース)」「Recycle(リサイクル)」の3つのRの総称。リデュースとは、物を大切に使い、ごみを減らすこと、リユースとは、使える物は、繰り返し使うこと、リサイクルとは、ごみを資源として再び利用すること。

④ 適正な廃棄物処理への支援の検討 .....

高齢者や外国人など、ごみの分別が苦手な市民でも適正にごみを分別しやすくするため、伊豆の国市版「ごみの出し方アプリ」の開発や、ごみを集積所まで運ぶことが困難な高齢者等を支援する新たな制度を検討します。



指標			
指標名	基準値	目標値	指標の説明
市民1人1日当たりのごみ排出量	932g	932g*	市内で発生する一般廃棄物の年間総量を市民1人1日当たりで除して算出した量

基準値／令和2年度実績値

\* 市内人口は減少傾向にあるが、過去の推移によると、一般廃棄物の年間総量は年々上昇傾向にある。  
現状のまま推移すると、市民1人1日あたりのごみ排出量は増加が見込まれるため、増加抑制を目指し、基準値と同値を設定。

